

通木 信もれ日

Komorebi Tsushin

第13号

平成15年6月

つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月館町大字下手渡字寺窪7

TEL024 (573) 3888 FAX024 (573) 3887

E-mail: hanakobo@safins.ne.jp

休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)

つきだて花工房ホームページ <http://odehime.or.jp/hanakobo>

●つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

花のアルバム

アルバムの
13ページ

ポピー

目を閉じて 耳を澄ます
木の葉のささやき
小鳥たちのさえずり
短い時間 自然との対話
心がすうっと浄化して
今日もうれしい
いちにちのはじまり...



色鮮やかなポピー(ケシ)の花が、初夏の薫風にかすかに揺れている光景は、ほかに類を見ない幻想的な美しさがあります。花びらは和紙のように薄く光沢があり、太陽の光が差し込んだときには二段とその輝きを増します。

100種以上ある品種の中で、最も代表的な園芸種はヒナゲシで、別名虞美人草と呼ばれるほど美しさを称えられた花です。ところがつぼみの時の首を垂れた様子はどこことなくグロテスク?魔法のような開花の瞬間を肉眼で見ることができたらどんなにか感動することでしょう。



※虞美人：中国歴史上絶世の美女といわれた妃

ポピー・デイ

花の歴史を知ること、その花のことがもつと身近に感じられたり、いとおしく思えたりするものです。赤いポピーは、英国人にとって追悼の花。第二次世界大戦後、激戦地だった

荒地にポピーの花が咲き乱れました。以後赤いポピーは戦争犠牲者を象徴する特別の花となります。第二次世界大戦が停戦となった11月11日はポピー・デイと呼ばれ、毎年追悼式典では全員が胸に赤いポピーの花をつけ、戦没者を悼みます。

●ヒナゲシの花言葉「思いやり」「いたわり」「思いやり」

シロツメグサ咲いた

いつのまにか足元の草花も姿を変え、シロツメグサやペンペン草の白い花が咲く季節となりました。ついなおざりにしてしまう草花のなかにも自然の移り変わりが見られるものです。

シロツメグサは江戸時代にオランダ船で運ばれたギヤマングラスの梱包用に使われたことから「詰め草」の名が付いたといわれます。幸運のシンボル、四つ葉のクローバー探しは誰でも経験したことがあるでしょう。クローバーの葉を顔に見立て目や口を切りぬいて陽にかざすと笑っているように見えるのをご存知ですか。小さな小さな草花に心温まる一瞬です。



遊歩道に咲いていたシロツメグサ

花々のやさしさは、訪れる人びとがいちばんよく知っています。

こころとからだの休日をつぎだて花工房でお過ごしください。



平成8年8月8日にオープンした

つぎだて花工房が

この夏、8回目の誕生日を迎えます。

たくさんのお客様との新しい出会い、

四季折々の自然の恵みに感謝しながら

これからも、心と心が通いあう

施設でありたいと願います。

夏はひまわり、春はレンゲソウとサイクルが定着してきたつぎだて花工房下の空き地です。

5月、一面に敷きつめられた紫紅色の絨毯の上では、時おり子供たちの明るい笑い声が響いていました。澄んだ空とやわらかい風を受けて、時を過ごす子供たちの表情は愛らしく、まるで雲の上で遊んでいる天使のよう。花々のやさしさは、つぎだて花工房を訪れる人々が、一番よくご存知だと感じています。

6月1日の日曜日、つぎだて夢楽校の皆さんがレンゲ畑を耕して、ひまわりの種を蒔きました。多くの皆さんの愛情に日々支えられて、つぎだて花工房はもうすぐ8回目の誕生日を迎えます。



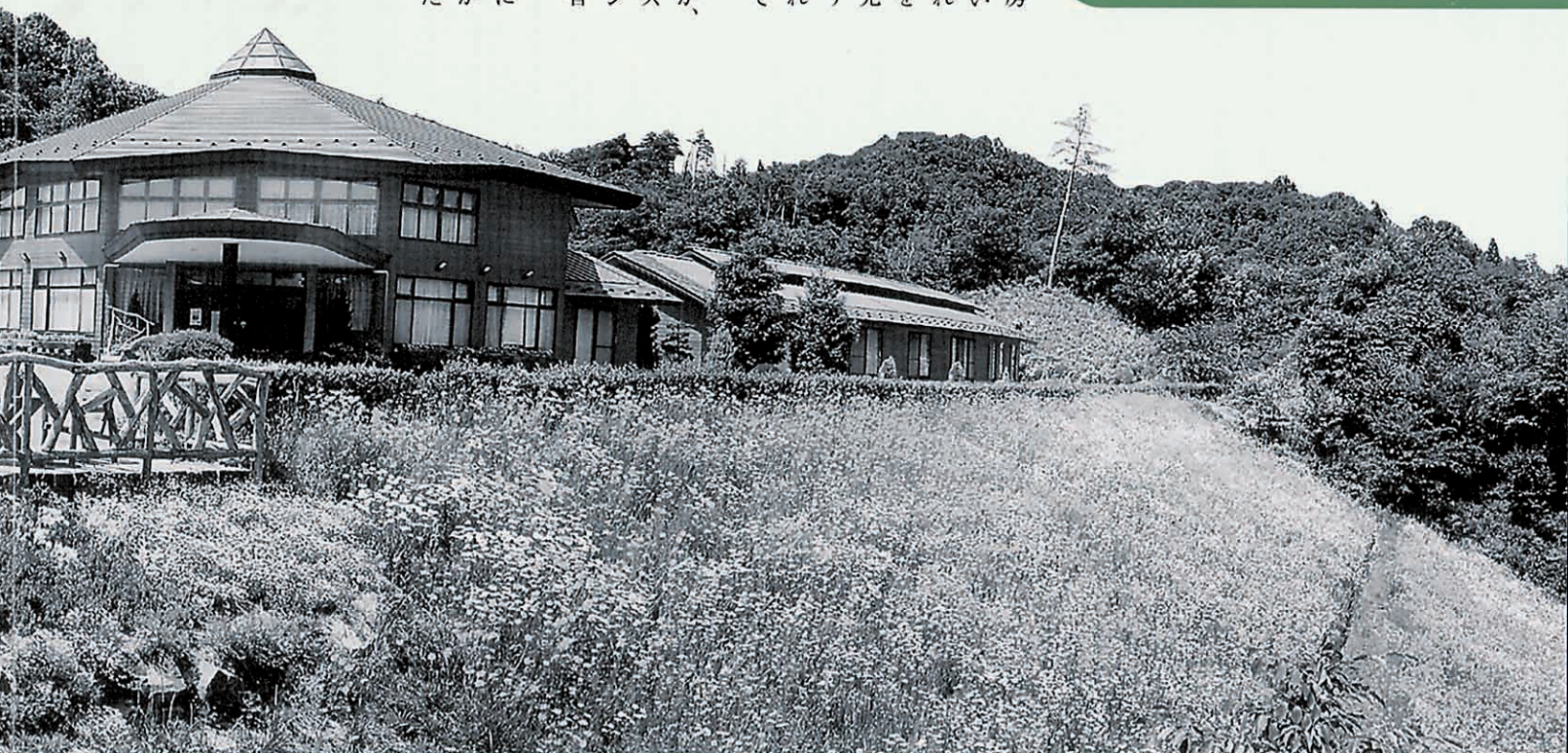
(左) ゆうた君 (右) ゆうや君

この夏8周年を迎えるつぎだて花工房は、花いっぱいのお庭と、阿武隈のやさしい山並み、ハーブのお風呂が特徴です。これからの季節、施設の裏手にある遊歩道を歩きながらの森林浴はいかがですか。見上げると木々の葉がスタンドグラスのような美しさ。あわただしい日々と並行に流れている自然界の営みを実感することができそうです。

宿泊室は6部屋と多くはありませんが、静かにゆったりお過ごしいただくにはオススメです。お風呂から眺めるロックガーデンの花たちが日々の疲れを癒し、ハーブの香りが心と体を元気にしてくれます。

移りゆく季節、やさしい四季の恵みに感謝をしながら、これからも真心のつながりを大切にするつぎだて花工房でありたいと思います。

記憶にとどめたい
ことがある。
風の音・土の感触・
草の香り
幼き日の思い出の
数々...



● 宿泊 1泊2食付...6,500円～(1部屋5名様以上の場合) ● 日帰り入浴...大人300円 小学生150円
● ランチ営業...11:30～13:30(ラストオーダー) 月産産小麦「絹吾麦」使用小手姫うどん好評です。

黄色のオオキンケイギクと白色のシャスターデージーが一面に咲いて...
写真協力 霊山町 渡辺孝雄様

もりもりアキラのもりもり日記

もりもり
案内人

ノラ学校編

今日はもりもりノラ学校の入校式。半年間もりもり農園のオーナーになられた岡崎さん、佐藤さん、山田さん、高木さんたちが農園に集合、それぞれ自己紹介をして作業に入る。

まずはウネづくり。千葉先生の指導を受けながら1区画20㎡の農園に6本のウネをつくり、マルチをかけた。

説明では簡単に思えた作業がなかなか難しい。クワさばきも苦勞されていたが皆が協力し合いながら



第1回ウネづくりと苗の植付け
5月18日(日)くもり

もりもりノラ学校
(貸し農園)

まずは完成、昼食タイム！石窯でピザを焼く。佐藤さんオススメの焼きウドが絶妙においしいかった。

午後は、それぞれが構想を練ってチョイスした苗を植え付ける。畑に命が吹き込まれた感じがして僕までワクワクしてくる。皆がいい人で作業しながら仲良くなっていた。うれしい。

次回からは収穫した野菜を調理して食べるようになるのでさらに楽しい教室になると思う。

(アキラ・記)



きゅうりとラディッシュで顔を描く(特製サラダ:アキラ作)

バラの香りに誘われて

福島市第6地区協議会のみなさま



福島市第6地区社会福祉協議会、延べ150名のみなさまが、5日間にわたりつぎだて花工房で昼食をとり、穏やかな午後のひとときを過ごされました。

ある日、散策から戻った事務局の末永さんが、うれしそうにフロントにみえたと「今ねえ、お散歩に来ていた斎藤さんという方に、遊歩道の案内をしていただきましたよ、ぐるーっとひと回り。近所の人らしいけど、いやあ、月館町の方々は本当に親切、だから町の雰囲気がいいんですねえ」と大満足です。こちらまでうれしくなりました。

「今日は最終日、記念写真を撮らせて下さい」とお願いすると、運転手の菅野さんが早速イスのセッティングをお手伝いくださり、おかげさまで芳しいバラの香りに包まれた1枚の記念写真ができました。

その後お元氣でお過ごしですか。次回は是非お泊りでお越し下さい。

秋山料理長の旬を楽しむ

夏のひとしな

鶏肉と茄子の胡麻ボン酢掛け

夏を代表する野菜といえば、何といても茄子。夏バテ防止に効果のある胡麻を使つて暑い夏でもすっきり食べられる一品をご紹介します。

材料

茄子...3本(縦8ツ切)
鶏もも肉...2分の1枚
そら豆...適量
片栗粉...少々
漬汁

「胡麻ボン酢」

ねり胡麻...60cc
ボン酢醤油...60cc
味酢...120cc
砂糖...30cc

(右記の材料をボールに入れ、ホイッパーで交ぜ合わせる)

作り方

1 茄子を油で揚げ冷水に取る

2 鶏肉をひと口大のそい切りにし、片栗粉をまぶしてボイルし冷水に取る。(鶏は完全に火を通すこと)

3 茄子、鶏肉を漬汁に晩漬けて冷やしておく。

*漬汁：かつおだし汁(10)、うす口醤油(1)、味酢(0.5)

右記の分量を合わせ火にかけ、冷めたらおろし生薑少々入れる。器に茄子、鶏肉を盛り彩りに青味(そら豆、オクラ等)を添え胡麻ボン酢を掛ける。



ハーバルライフで潤いを！ ハーブソープを 作りましょう

材料と用具(8〜10個分)

無色無臭の石鹼粉 500g
ハチミツ 30cc
エッセンシャルオイル 少々
ドライハーブ 1/2カップ
おろし金・ボール・木へら

作り方

1 ドライハーブを300ccの熱湯に入れ、蓋をしたまま1時間以上放置し濃いエキスを作る。

2 ボールに石けん粉と1でできたエキス100cc、ハチミツ30ccとエッセンシャルオイル少々を入れ、よく練り合わせる。

3 1のエキスの残りをを手水にしながら、2を好みのおきさや形(ハート型、星形など自由自在)に仕上げる。

4 出来上がったハーブソープは、風通しの良い場所で裏表を返しながらく乾燥させます。



はみだし
コーナー

花工房BGM ●シュビルマン/オリジナルレコーディング ●静かな生活/オリジナルサウンドトラック
花工房ライブラリー ●しばわんこの和のこころ ●コミック・レモンハート

Hana

「はなくらぶ」は皆さまとつぎだて花工房をつなぐページです。お便り・情報など何でもお気軽にお寄せください。お待ちしております。

ごめいびインタビュー 夢かなう！ 念願の 自家菜園で野菜づくり

今回、もりもり農園のオーナーになられた福島市の佐藤様に動機とこれからの夢などをうかがってみました。

Q どうしてももりもり農園を借りようと思ったのですか。

A つきだて花工房は、私たち家族のお気に入りの施設で、オープン当初からの長い付き合いです。今回、無農薬で野菜を作るとの案内があったので、是非参加したいと思い応募しました。40年勤めた職場をこの春引退、夢だった野菜づくりに絶好のタイミングだったんです。

Q お仕事を引退されて生活サイクルもだいぶ変わりましたか。

A これからは自然の中で「スローライフ」「スローライフ」を存分に愉しむつもりです。少しずつですが実現に向けて生活していると「どうして今まであんなにがむしやりに頑張ってきたんだろう」と思います。でも、そんな時代があったからこそ今楽しいのかな。

Q 1回目のノラ学校はいかがでしたか。

A 千葉先生の指導がわかりやすく、とてもスムーズに作業ができました。農作業で汗をかいた後のビールとピザに働く喜びを全身で感じ、今までにない充実感だったなあ。

Q どんな農園にしたいですか。

A 農園を借りている皆さんと一緒に楽しく、おいしい野菜を作りたいと思います。特にメロン、スイカは孫のために植付けをしたものです。無農薬の安全なスイカをおいしそうに食べる姿を見るのが今から楽しみです。食の安全は未来を生きる子供たちにとつて、とても大切なこと。もちろん定年を過ぎた私たちにもですがね。

Q 奥様と二人三脚ですね。

A もともと妻も野外活動が大好きで、山菜やきのこ採りなど一緒に行動していましたから、今回のもりもり農園を借りることに意見がすぐに一致しました。



もりもり貸し農園のオーナーの皆さまとスタッフ

Q 収穫が楽しみです。

A 野菜づくりは一年生ですが、これからは「野菜はできる限り自給自足」と心に決めています。農薬を使わないで育てた野菜を家族と一緒に食べたり、ご近所の方におすそ分けをしたりして、野菜づくりの喜びを実感したいですね。そして「いただきます」と言うときには、太陽や雨や大地など、自然の恵みにさやかながら感謝をこめて、自分で作った野菜のうまさをおかみしたいと思っています。

お便り コーナー



月館町:渡辺ミヤ子様

花 ジャンボピーマンの同様に黒いピーマンがあるそうですが見かけたことがあります。今年こそは食べたいと思います。

先 日はお世話になりました。最近では「今度の連休、帰るよ。」と電話をすると、両親がまず花工房に予約するほど定着しました。また次回もお世話になると思いますのでよろしくお願いします。(茅ヶ崎市 齊藤久様)

花 久しぶりに過ごすご家族の大切な時間、つきだて花工房が少しでもそのお役に立てれば幸いです。

ふ るさと探訪」で五幸山を参拝した帰りに、御代田4番組婦人部のみなさんにいただいたシシラン(ジジバ)が横浜の地で元気に育っています。一年目に二輪、二年目に三輪、3年目の今年は三輪の花を付けてくれました。

花 一鉢の植物があるさとを近くに感じさせてくれるうれしお便りでした。同封のお写真は婦人会の方にお渡ししました。

はなくらぶ ムーン講座

自分自身と向き合う時間を提案します。

●絵手紙教室

(日) 程 6月23日・7月14日・8月25日
すべて月曜日

(受講料) 1000円(1回)

(時) 間 午前10時から

(講) 師 和田恵秀先生

●ハーブ教室

キッチンハーブの寄せ植え
(日) 程 6月22日(日)

(参加費) 2000円

(日) 程 7月13日(日)

(参加費) 1500円

(時) 間 午前10時半から

(講) 師 菅野夕起子先生

お申し込みは024(573)3888
はなくらぶ係まで

つきだて花工房 8回目の8月8日 記念プレゼント

1組2名様
つきだて花工房宿泊券
泊一食付宿泊券を1組2名様

3名様
つきだて花工房食事券
ラウンジ食事券千円分を3名様

《応募方法》

応募券を官製はがきに貼り付け郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ、つきだて花工房「8周年記念プレゼント」係まで応募ください。締め切りは7月31日(木)の消印まで有効です。抽選は8月8日、発表はつきだて花工房掲示板及び木もれ日通信14号にて。

どしどし応募ください！

INFORMATION 花工房からのお知らせ

●ユリの祭典、リリーフェスタ
7月12日(土)・13日(日)
(すばいく月館)

つきだて花工房からすぐです。

●市(広瀬ふれあい広場)

8月10日(日)

●流灯花火大会(月見橋周辺)

8月20日(水)

つきだて花工房8月休館日

8月5日(火)、26日(火)、27日(水)、28日(木)となります。

イベントに関するお問い合わせは月館町役場・産業建設課

024(572)2111まで

編集後記



木漏れ日のやさしさに包まれる一瞬
つきだて花工房の遊歩道

ふと風の香りに立ち止まったり、澄んだ空を仰いで深呼吸をしたり、可憐な花を見て心がほっとしたり、木漏れ日の美しさに時間が止まったり、それから「また来たよ!」というお客様の言葉に元気をもらったり... 私にとつてつきだて花工房には、心の処方箋がたっぷり詰まっています。

最近実感することは、恵まれた自然環境と気のいい人たちに囲まれて暮らすことの幸せです。オープンからあつという間の8年でした。いろんなこともありますが「やっぱりこの町が好きです!」そう言える自分になったような気がするこの頃です。(佳代)

ムーンセラピー

月の明かりで疲れた心を癒したい。
いますぐカレンダーにチェック!!

【満月の夜】

6月30日(月)
7月29日(火)
8月28日(木)

【新月の夜】

7月14日(月)
8月12日(火)
9月11日(木)

15年夏号プレゼント
応募券